

タイトル		Fortunately			
著者（文・絵）		Remy Charlip			
出版年		1964	出版社	Aladdin Paperbacks	
翻訳版		『よかったねネッドくん』 やぎたよしこ訳、偕成社、1997 年			
総語数	149 語	ページ数	44 ページ	YL レベル	1.0
あらすじ					
ある日、ニューヨークに住むネッドという男の子にパーティーの招待状が届きます。ところが残念なことにパーティーの会場はフロリダ。運よく友人から飛行機を借りることができましたが、運悪くモーターが爆発してしまいます。でも運のよいことに飛行機にはパラシュートがついていました。しかし運悪くパラシュートには穴が空いていて... このように、ネッド少年が幸運な出来事と不運な出来事を交互に経験しながら物語が進んでいきます。果たしてネッド君はパーティーにたどり着けるのでしょうか...?					
紹介					
この作品は読み聞かせ用の絵本として定評があります。幸運な出来事と不運な出来事が次々順番に起こり、それぞれ Fortunately または Unfortunately という出だしで始まるので、それに合わせて声音を変えて音読すると生き生きとした内容がさらに強調される効果があります。幸運の喜びも束の間に不運に見舞われ、どうやって切り抜けるのだろうとドキドキしながら次のページをめくると窮地を脱しているというワクワク感も、この絵本の醍醐味でしょう。 作者の Remy Charlip (1929-2012)は、舞台監督や振付師でもあったとのことですが、この作品も見開き 2 ページがそれぞれ舞台の 1 シーンのようにもあります。幸運な出来事の場面はカラーで、不運な出来事の場面は白黒で描かれており、単純ではありますが、それが場面の切り替えとして、軽快なリズムで幸運と不運のコントラストを生み出しています。					
指導ポイント・授業活用例・学生の声など					
【注意すべき英語表現ほか】 ➤ 「借りる、貸す」に係る単語 A friend loaned him an airplane. という一文が出てくるので、borrow, rent, lend, loan, owe など、「借りる、貸す」に係る単語の使い分けを学ぶ機会としてもよいでしょう。 ➤ なじみのない単語 haystack (干し草の山), pitchfork (干し草用の三又、熊手) といった学生にはなじみがないと思われる単語もいくつか出てきますが、イラストで意味がすぐにわかるはずです。					

【授業活用例】

この作品は Fortunately/Unfortunately と運不運な出来事が交互に起こるため、この特徴を生かした活動が適しています。

➤ 音読

Fortunately のときは明るく元気よく、Unfortunately のときははらはらした様子で声が出せると臨場感が生まれます(大島, 2011 参照)。

残念ながら大学生はなかなかこのとおりには発声してくれませんが、それでも音の出し方で雰囲気が変わる、解釈が変わる、ということは伝わります。

➤ クリエイティブ・ライティング

この絵本と同じように Fortunately 次は Unfortunately で始まる文を順番に一人1文ずつクラス全員が書き終わるまで交代で書いていきます。何枚かの紙をクラスに回すといくつか話が出来上がります。出だしは教員が書いておいてもよいでしょう。支離滅裂な話に終わってしまうこともあります。どうやって難局を切り抜けるか、機転を利かせるよい訓練になりそうです。自分が一文書いた話が結局どうなったか興味をもってくれる学生も多いので、集めたストーリーは次のレッスン等で紹介するとよいでしょう。

なお、このアクティビティを口頭で実施することも可能です。Fortunately と Unfortunately を交互に使って創作していくお話づくりのゲームとしてドラマの授業などでも使われているようです。

➤ 他の作品との比較

幸運と不運が交互に起こるという構成は、『塞翁が馬』でおなじみのテーマ。ただ『塞翁が馬』ということばは聞いたことがあっても、内容を知っている学生は少ないので、『塞翁が馬』（英語バージョン）を合わせて読んでみるとこのテーマに対する理解が深まるはずです。

【学生の声】

音読について

- 久々に音楽（音読）をしたので、発音が不安だった。
- 声に出すと、本をじっくり観察できる。
- 音読もわかりやすくなっていいなと思いました。
- 音読はあまりしないので新鮮でした。
- 中学校以来だった。

創作英文について

- 自分で物語を作るのに頭を使いました。
- 若いころのかんがえにもどれるようになりたい。
- Unfortunately と Fortunately をみんなで考えるのも自分では思いつかないような発想と出会えて楽しかったです。

関連作品・参考 URL

- Wenjing Zhou, & Joseph Janeti. (2014). *China tales and stories: Sai Weng loses a horse*. [Kindle] Mead-Hill.
『塞翁が馬』英語版です。
- Michael Foreman (2018). *Fortunately, Unfortunately*. Andersen Digital.
また、fortunately と unfortunately の構成に触発されて描かれた作品です。イラストも可愛らしく、より現代的な内容です。
- 大島笑美 (2011). 『声に出して読む英語絵本:初めてのリードアラウド』 東京：中央公論社
2006 年に著者の勤務校においてワークショップを開催、ご指導くださいました。改めてお礼を申し上げます。

(文責：小林めぐみ)